

100歳 賀寿贈呈



今後もおすこやかに

町で生まれ、大正11年1月に結婚し、6人の子供に恵まれました。

長生きの秘訣は、3食をきちんと食べ、好き嫌いをしないことだそうです。

八ナさんがいつまでも幸せに長生きできますよう心からお祈りいたします。

小野町の現在の100歳以上のかたは、八ナさんを含め5名です。

こまちダム 現場見学会開催!



湖底よりダムを見学

10月16日、「こまちダムとふれあう1日(こまちダム見学会)」が、工事現場で行われました。福島県、こまちダム建設促進協議会、こまちダム安全衛生連絡協議会が共催したものです。ダム建設部長と入場者先着3名(鈴木望友さん、矢吹徳弥さん、遠山和希くん)によりテーパーカットが行われ、日ごろ入ることの出来ない工事現場に、家族連れなど約300人が訪れました。

特設コーナーとしてパネルによるダム事業の説明、水道水や黒森川の水質実験、そして今回見学できる最後のダム湖底での記念撮影やダム堤体に自由に絵



ダム堤体へのメモリアルペイント

を描いてもらうメモリアルペイントが行われました。来場者は、射的をしたり、プレゼントされた焼きとりやポッツコーンを食べたりと、楽しみながら将来ダムの湖底になる現場を見学しました。

身体障害者の スポーツ教室



一生懸命にプレー

10月4日、田村市各身体障害者福祉会と小野町身体障害者福祉会主催による『第1回田村市支部身体障害者スポーツ教室』

が田村市都路町の古道体育館で開催されました。このスポーツ教室は、障害者の自立と社会参加を目的とし、開催されたものです。

当日はあいにくの雨で、体育館での開催になってしまいました。が、会員の皆さんも、スポーツの秋らしく、さわやかな汗を流し、競技に取り組みました。なかでも、当町から参加し、敢闘賞受賞の根本金太郎さんは89歳で、大会参加最年長者でした。

常恒八ナさん(塩庭)は、9月28日、めでたく満100歳の誕生日を迎えられ、大勢の親族や関係者の同席のもと百歳賀寿贈呈式が行われました。

贈呈式では、町長から「小野町笑顔とがんばり敬愛条例」に基づき「百寿長老」の賀寿や祝金が贈呈され、福島県からは、知事賀寿、木杯、知事直筆の色紙が贈られました。町社会福祉協議会、県・町の老人クラブ連合会からは花束や賀寿・記念品が贈られました。

八ナさんは、明治38年に小野